SDGs新聞	西日本旅客鉄道株式会社
駅をさらに楽しく、街をますますステキに	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんが「駅」に行くのはなぜですか？それは「どこかへ出かけるため」ですよね。
でも駅には、電車や新幹線に乗る以外にも、街の人々が集まる場所として、いろんな役割があるんですよ。
鉄道会社の「JR西日本」では、もっと快適に、便利に、楽しく駅を利用してもらうために、
日々、たくさんの駅でリニューアルを進めています。
ショッピングを楽しめるお店、美味しいレストランなどはもちろん、中にはホテルやオフィスビルが入った駅もあります。
また、より多くの人が駅を便利に使えるようにしたり、バスやタクシーといったほかの公共交通とつながるようにしたり、まちづくりの視点からも、JR西日本はいろんなことに取り組んでいます。
今、大阪駅や三ノ宮駅などの大きな駅でも、どんどんリニューアルが進んでいて、これからがとても楽しみですね。
さぁ、みなさんの街の駅はどうですか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：まちづくりのイメージ画像（JR西日本公式HPより）

「JR西日本」は日本でも有数の鉄道会社ですが、今や「鉄道だけの会社ではない」といっても決して大げさではありません。現在、JR西日本では県や市町村、たくさんの企業と連携して、さまざまな駅のリニューアルに取り組みながら、沿線の「まちづくり」を進めています。リニューアルによって駅は、ただ列車に乗るための場所ではなく、お店やホテル、オフィスビルなどが集まる場所となり、駅を中心に、「まちづくり」がひろがっていきます。さらにJR西日本は「まちづくり」を通じて、バリアフリーや防災をはじめとした、地域・社会が抱えるさまざまな課題にも取り組んでいます。

画像参照：JR三ノ宮新駅ビル外観のイメージ画像
（JR西日本プレスリリースより）

JR西日本が進める「まちづくり」のひとつの例として、現在「三ノ宮駅」では、新しい駅ビルの開発を2029年度中の開業に向けて進めています。神戸の玄関口にふさわしい空間となるよう駅周辺を整備するとともに、地域のランドマークとなる新しい駅ビルを開発することで、神戸の街をさらに活性化させていきます。また、この駅ビルには、お店やホテルのほか、さまざまな人々が交流しながら働けるオフィスや、居心地のよい広場などをつくって、地域ににぎわいをうみ出します。

キーワード

まちづくり

駅や商業施設、学校、公園などを計画し、「地域」をより便利で楽しい場所にすることです。

バリアフリー

障がいのある人や高齢者などが、「不便だと感じること」をなくして、生活しやすくなるようにすることです。

ランドマーク

街の中で特に目立つ建物のことです。例えば、高いビルや塔、大きな像などが「ランドマーク」になります。

対象ゴール

みなさんにできること！	
みなさんが大人になった時に駅や街がどんなふうになったら良いか、考えてみましょう。	
おさらい	●「駅」は、「列車に乗るためだけの場所」ではなくなりつつある。 ●JR西日本では「まちづくり」の一環として、三ノ宮駅ビルのリニューアル工事を進めている。 ●駅ビルがお店やホテル、オフィスなど、さまざまな機能を持つようになってきている。

メモ

SDGs ラジオ